

2017年5月20日
第122号
(Web版第16号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 第2回犯罪学合同大会開催の趣意書について
 - II 第2回犯罪学合同大会への協賛のお願い
 - III 第44回大会の内容について
 - IV 事務局員の変更について
 - V 各部・委員会報告
- 付 「第2回犯罪学合同大会開催の趣意書」

※第107号からニュースレターはWebのみで発行しております。
※会員動向につきましては、年間2回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 第2回犯罪学合同大会開催の趣意書について

すでにご案内の通り、2017年9月1日から9月3日まで國學院大學渋谷キャンパス（東京都渋谷区）にて第2回犯罪学合同大会が開催されます。同大会の設立の経緯や趣旨、運営組織等につきまして、本号巻末に「第2回犯罪学合同大会開催の趣意書」を添付しております。詳細に関しましては、そちらをご覧ください。

II 第2回犯罪学合同大会への協賛のお願い

第2回犯罪学合同大会への協賛につきまして、下記の通りご案内いたします。

第2回犯罪学合同大会への協賛のお願い

準備委員長 横山 実

第2回犯罪学合同大会は、日本犯罪学会、日本犯罪社会学会、日本犯罪心理学会、日本社会病理学会、日本司法福祉学会が参加して（日本更生保護学会はオブザーバーで参加して）、2017年9月1日から3日の間、國學院大學で開催されます（9月4日には施設見学を予定しています）。大会の開催については、國學院大學から特別な配慮をいただいておりますが、施設使用料などの経費が見込まれています。各学会には、通常の大会補助金の範囲内で、合同大会への財政的支援を頂くことになっております。そのような事情ですので、もしよろしければ、合同大会への協賛としてご寄付を賜れば幸いです。協賛金はいくらでも結構ですので、協賛いただける方には、下記の口座に入金していただければ幸いです。

郵便局の振替口座

口座記号番号 00140-0-265285

加入者名 犯罪学合同大会準備委員会

なお、1万円以上を協賛として入金していただいた方には、9月2日の夕方からの懇親会に招待させていただきます。また、6月末までに口座に入金していただいた方のご芳名を、合同大会プログラムに掲載させていただきます。

どうか、よろしくご願ひいたします。

III 第44回大会の内容について

第44回大会は、犯罪学関連5学会の合同学会の一環として、2017年9月2日（土）、3日（日）に國學院大學渋谷キャンパス（東京都渋谷区）にて開催されます。日本犯罪社会学会担当のシンポジウム、テーマセッション、自由報告は、以下の通りです。

1. タイムテーブル

9月2日（土）

8:30- 受付開始

9:00-12:00 自由報告
12:00-13:45 昼休み
13:45-17:30 シンポジウム
18:00- 合同懇親会

9月3日(日)
8:30- 受付開始
9:00-12:00 テーマセッション
12:00-13:30 昼休み
13:30-16:30 テーマセッション
16:45-17:00 合同閉会式

2. 企画内容について

現在、予定しているシンポジウム、テーマセッションのテーマ・コーディネーターは以下の通りです。

(1) シンポジウム

テーマ：学校は逸脱・非行にどうかかわるか
コーディネーター・司会：岡邊健（京都大学）
報告者：野田正人（立命館大学）
大田和直樹（帝京大学）
鈴木翔（秋田大学）
竹原幸太（東北公益文科大学）
指定討論者：原田豊（科学警察研究所）

(2) 公募企画テーマセッション

- ・テーマ：刑事政策学の復権Ⅲー 刑事政策学のアイデンティティを求めてー （ラウンドテーブル）
コーディネーター：松原英世（愛媛大学）
- ・テーマ：子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤の確立ー 研究成果の「社会実装」をどう進めるかー
コーディネーター：原田豊（科学警察研究所）
- ・テーマ：長期受刑者の社会復帰についてー 無期受刑者処遇の社会化にむけてー （ラウンドテーブル）
コーディネーター：中村悠人（東京経済大学）
- ・テーマ：死刑と無期の間ー 終身刑問題をどう考えるかー （ラウンドテーブル）
コーディネーター：笹倉香奈（甲南大学）
- ・テーマ：少年法適用年齢と若年者処遇の在り方
コーディネーター：山口直也（立命館大学）
- ・テーマ：行政・実務と連携した犯罪研究ー 施策の市民への還元のためにー
コーディネーター：齊藤知範（科学警察研究所）

- ・テーマ：非行少年の「立ち直り」を考えるー パネルインタビューにもとづく批判的検討ー (ラウンドテーブル)
コーディネーター：岡邊健 (京都大学)

IV 事務局員の変更について

2017年3月末日をもちまして、2015年から本学会事務局員としてご尽力いただいた石原雄一氏が神戸芸術工科大学へ異動しました。4月1日から、小野昭展氏が本学会事務局員として着任したことをご報告いたします。

<事務局からのご挨拶>

2017年4月1日より、日本犯罪社会学会の事務局業務を担当させていただいております小野昭展と申します。現在までほぼ入試広報・学生募集業務しか経験がなく、初めての教学・研究部門ということで、至らないことも多くあるかと存じますが、一日も早く学会活動のお役に立てるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

V 各部・委員会報告

1 研究委員会

第44回大会は犯罪学関連5学会による合同学会のため、5学会による統一プログラムを作成します。統一プログラムは、8月上旬頃に発送予定です。

本学会独自のプログラムは、PDF形式で学会ホームページ上に公開予定です。

2 編集委員会

『犯罪社会学研究』42号の自由論文・研究ノートの投稿締切りは2017年5月31日です。HPおよび最新の既刊号所載の投稿規程に従って、下記住所宛にご送付ください。なお、投稿は常時受け付けております。会員の皆様のご投稿をお待ちしております。

本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの投稿先>

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10 八ッ橋ビル 7階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局>

hanshahenshu17@gmail.com

3 渉外広報委員会

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。本助成を申請する際には、研究会開催に先立って申請責任者の名前と住所ならびに所属、研究会の名称、助成を申請する研究会の開催日時・開催場所・内

容（テーマ、タイトル等）を、渉外広報委員会までご連絡ください。研究会開催後の申請は受け付けておりません。連絡先は下記のとおりです。受付後、速やかに審査手続きを行い、採否を通知いたします。採用が決定した際には、渉外広報委員会より助成金の振り込みを行います。また学会ホームページにて当該研究会の広報を実施します。後日、申請責任者には、領収書の提出等の事務手続きを担当していただきます。

相応しい企画がございましたら、是非積極的にご応募くださいませ。

連絡先：本庄 武 (t.honjo@r.hit-u.ac.jp)
日本犯罪社会学会事務局 (hansha@daishodai.ac.jp)

4 本部事務局会計部

会費納入のお願い

まだ 2017 年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000 円（今年度分より会費が改定されましたので、ご注意ください）

但し、院生会員 6,000 円（大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員）

国外会員 7,000 円（国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員）

郵便振替口座 00950-2-148284
加入者名 日本犯罪社会学会

会費を 3 年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意下さい。

5 本部事務局庶務部

(1) 献本（2016 年 12 月 20 日～2017 年 4 月 21 日現在）

下記の通り献本がありました。ご報告少々、お礼申し上げます。

- ・警察政策研究センター『警察政策研究』第 19 号
- ・龍谷大学 矯正・保護総合センター『龍谷大学 矯正・保護総合センター 研究年報』第 6 号
- ・法務総合研究所『法務総合研究所研究部報告』56・57 号
- ・龍谷大学 矯正・保護総合センター『キャンベル共同計画 介入・政策評価系統的レビュー』第 11 号
- ・龍谷大学 矯正・保護総合センター『矯正講座』第 36 号

以上 6 冊

(2) 会員数（2017 年 4 月 22 日現在）

一般会員 453 名、名誉会員 11 名、終身会員 1 名、特別会員 2 団体、合計 467 名

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間 2 回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。

事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00-16:00)

FAX : 06-6781-8883

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。

第2回犯罪学合同大会開催の趣意書

設立の経緯と趣意

日本には犯罪学関係の学会がいくつか存在します。第1回の犯罪学合同大会は、犯罪学関係の4つの学会により、1994年に慶応大学で開催されました。2011年8月には、日本犯罪関連学会連合会が母体となり、国際犯罪学会第16回世界大会が神戸で開催されました。世界大会は成功裏に終わり、翌年の3月に、日本犯罪学会、日本犯罪社会学会、日本犯罪心理学会、日本社会病理学会、日本司法福祉学会によって、日本犯罪学関連学会ネットワークが結成されました（新たに設立された日本更生保護学会が、結成後に加入しています）。

2016年3月12日に開催された第5回定例代表者会議において、第2回合同会議を2017年に開催することが決まりました。合同大会は、各学会の年次大会を、同じ日に同じ会場で開催することで合意されて、日本犯罪学会、日本犯罪社会学会、日本犯罪心理学会、日本社会病理学会、日本司法福祉学会が参加します（日本更生保護学会は、国際大会を開催する予定のために、オブザーバー参加です）。現在、準備委員会のもとで、参加各学会において準備が進められています。

大会統一テーマ

「近未来の犯罪学とその担い手たち ～犯罪をめぐる学際的・学融的研究の体系化の可能性～」

合同学会全体を統一するテーマとして、犯罪学を、犯罪現象をめぐる多様な科学的アプローチを学際的・学融的な科学として再構築し、若い研究者たちにとっても魅力的な学科として展開していくためのスタート・アップと位置づけ、それぞれの学会が自由かつ関連な研究活動を展開することをめざします。

開催日時と会場

日時 2017年（平成29年）9月1日（金）～9月4日（月）

会場 國學院大学渋谷キャンパス 1号館および2号館

（150-8440 東京都渋谷区東4-10-28）

http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/access_shibuya.html

プログラムの概要

9月1日（金） 基調講演 「治療的司法」（仮題） D・ウエクスラー（プエルトリコ大学）

〃 合同大会シンポジウム 「アクションからの回復支援のネットワークの可能性 ～司法と福祉、理論と実践は、分かりあえる

のか?～」

9月2日(土)、3日(日) 学会ごとの年次大会

9月4日(月) 施設見学ツアー

組 織

(1) 準備委員会

委員長 横山 實 (日本社会病理学会会長)

副委員長 石塚伸一 (日本犯罪社会学会会長)、岡本吉生 (日本犯罪心理学会会長)、関
哲夫 (大会会場校)

委 員 日本犯罪学会：小林寿一 (理事)・藤田真幸 (理事)

日本犯罪社会学会：本庄 武 (理事)

日本犯罪心理学会：渡邊和美 (理事)

日本社会病理学会：高原正興 (理事)

日本司法福祉学会：須藤 明 (理事)・松友 了 (理事)

日本更生保護学会：辰野文理 (理事)

大会会場校 (國學院大學)：中川孝博・甘利航司・安田恵美

顧問代表 影山任佐 (日本犯罪学会理事長)

顧問 大淵憲一 (日本犯罪心理学会元会長)

” 藤本哲也 (日本更生保護学会会長)

” 村尾泰弘 (日本司法福祉学会会長)

” 森田洋司 (日本社会病理学会前会長)

” 矢島正見 (日本犯罪社会学会前会長)

(2) 合同大会における各学会の大会委員長

日本犯罪学会 小林寿一 (理事)

日本犯罪社会学会 本庄武 (理事)

日本犯罪心理学会 村松励 (前会長)

日本社会病理学会 高原正興 (前理事)

日本司法福祉学会 小長井賀與 (理事)

事務局

〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28 國學院大學法学部 関哲夫研究室

電話：03-5466-0284

以上